

2015. 10
まちなりの誇り



スペシャルオリンピックス日本・山口下関支部

表メンバーに選ばれた彼女たちは、バスケットボールを始めてまだ2年もたっていないそうです。

練習は男女混合で、障害福祉サービ事業所「安岡苑」のスタッフやボランティアの協力です。毎月第2・4金曜日の午後7時から下関南総合支援学校の体育館で行っています。

日本代表・副キャプテンを務めた福田さんは「チームワークが一番大事だと思っているので、けんかをしないことを気を付けています。山本さんは「練習は大変です。でも練習を重ねていくたびにうまくなっていくので頑張れます」。橋田さんは「みんなとプレーできることが楽しい」とバスケットボールが大好きなことが伝わってきました。チームをけん引している清水コーチについては「明るくて、面白くて、バスケットボールの神様です」と田中さん。練習中も「どんまい！ ナイス！ 次頑張ろう！」などの声掛けや笑顔が多く、チームワークの良さがかがえます。

知的障害のある人たちに、さまざまなスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を提供し、社会参加を応援する国際的なスポーツ組織。夏秋冬ごとに、4年に一度、世界大会を開催しています。

表メンバーに選ばれた彼女たちは、バスケットボールを始めてまだ2年もたっていないそうです。練習は男女混合で、障害福祉サービ事業所「安岡苑」のスタッフやボランティアの協力です。毎月第2・4金曜日の午後7時から下関南総合支援学校の体育館で行っています。日本代表・副キャプテンを務めた福田さんは「チームワークが一番大事だと思っているので、けんかをしないことを気を付けています。山本さんは「練習は大変です。でも練習を重ねていくたびにうまくなっていくので頑張れます」。橋田さんは「みんなとプレーできることが楽しい」とバスケットボールが大好きなことが伝わってきました。チームをけん引している清水コーチについては「明るくて、面白くて、バスケットボールの神様です」と田中さん。練習中も「どんまい！ ナイス！ 次頑張ろう！」などの声掛けや笑顔が多く、チームワークの良さがかがえます。

世界をつなぐ活動を

日本代表コーチも務めた清水コーチは「スポーツだけでなく文化的な活動やイベントを通して、S.O.(ス

スペシャルオリンピックスを広めていきたい。そのためにはボランティアの方の力が必要不可欠です」とこれからの活動に意欲を見せました。いろいろな思いが詰まった金メダルを手に「応援、ご協力ありがとうございます。市民の皆さんのおかげで金メダルを取ることができました。いろんな障害があっても、頑張れば活躍できる機会や場所があることをたくさんの人に知ってもらいたい。私たちが頑張っていることが誰かの勇気になればとてもうれしいです」とメンバー全員が笑顔で話してくれました。彼女たちの笑顔・志は世界をつなぐ懸け橋となり、その無限の可能性を秘めた翼で羽ばたいていくことでしょう。

私たちと一緒に活動しませんか？

アスリートと一緒に思いきって一步を踏み出し、新しいことにチャレンジしませんか？ ボランティアとしてスポーツを共に楽しむこともできます。一緒に参加することでさまざまな可能性が広がっていきます。

問い合わせ先
SON・山口下関事務局(角田)
☎080-2908-5261

世界に羽ばたけ！ Let's Go エンジェルス！



△清水千代美コーチ

＜下関バスケットボールプログラムのアスリートたち



練習の様子

日本代表選出メンバー
左から福田昌子さん、田中玲菜さん、橋田順子さん、山本真佐世さん